

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	航空工学概論(AERONAUTICS)		授業コード	N030101
担当教員名	林田 和隆		科目ナンバリングコード	N10301
配当学年	1年次	開講期	前期	
必修・選択区分	必須	単位数	2単位	
履修上の注意または履修条件	出席を重要視します。遅刻・欠席厳禁			
受講心得				
教科書	航空技術英単語・配付資料			
参考文献及び指定図書				
関連科目				

授業の目的	これから航空関連の授業を受講していくわけですが、これらを学んでいくに当たり使用される専門英単語、また宇宙を含めての歴史を学習します。
授業の概要	歴史については、板書を使用して年表形式で説明します。又専門英単語については教科書及び配付資料を中心に学習します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：</b> 最初の5回は世界の航空宇宙の歴史を学びます。航空宇宙の歴史を学びながら、航空機技術の変遷、用語などに慣れてもらうことを目的とします。 初回はライト兄弟以前から第2次世界大戦までの歴史を学びます(PPT)。	
<b>第2週：</b> 第2次世界大戦から朝鮮戦争までの航空機の歴史を学びます(PPT)。	
<b>第3週：</b> 朝鮮戦争以降から現代の航空機までの進歩を学びます(PPT)。	
<b>第4週：</b> 宇宙前史と米国の宇宙開発の歴史を学びながら宇宙開発の意義を学びます(PPT)	
<b>第5週：</b> 米国以外の宇宙開発の歴史を学びます。宇宙開発は偉人のリーダーシップに依るところが多いことを学びます(PPT)。	
<b>第6週：</b> 教科書を使用して、用語について説明します。	航空技術英単語予習復習
<b>第7週：</b>	

教科書を使用して、用語について説明します。	航空技術英単語予習復習
<b>第8週：</b> 教科書を使用して、用語について説明します。	航空技術英単語予習復習
<b>第9週：</b> 教科書を使用して、用語について説明します。	航空技術英単語予習復習
<b>第10週：</b> 教科書を使用して、用語について説明します。	航空技術英単語予習復習
<b>第11週：</b> 教科書を使用して、用語について説明します。	航空技術英単語予習復習
<b>第12週：</b> 教科書を使用して、用語について説明します。	航空技術英単語予習復習
<b>第13週：</b> 教科書を使用して、用語について説明します。	航空技術英単語予習復習
<b>第14週：</b> 配布資料に今まで学習した用語を使って記入して貰います。	作成資料の復習
<b>第15週：</b> 配布資料に今まで学習した用語を使って記入して貰います。	作成資料の復習
<b>第16週： 期末試験</b> 期末試験実施します。	
<b>授業の運営方法</b>	(1) 授業の形式 「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング
<b>地域志向科目</b>	
<b>備考</b>	

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	宇宙を含めての歴史、航空機の色々な名称及び特殊用語を理解している。
<b>【知識・理解】</b>	色々な航空業界雑誌が読め、内容が少し理解出来る。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	MANUALを読んでみる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	

<b>○成績評価基準(合計100点)</b>	合計欄	100点
------------------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。			80点
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			10点
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。			
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	